



生きる

免田事件とは、日本で初めて死刑囚が再審無罪となった事件です。

無罪となった免田栄さん（1925～2020）は、獄中で過ごした34年のあいだに
およそ2000冊の本を読んだと考えられています。

そして2024年、拘置所で付された閲読許可証が残された本を含む

「免田栄文庫」が当館に寄贈されました。

言葉の意味と解釈が書き込まれ、赤鉛筆で線が引かれた本の数々からは、
再審の道をひらき冤罪をはらすべく獄中で辞書をひき法律を学ぶ免田さんの姿や、
聖書に救いを求め、人間とはなにかを思索し続けた姿が浮かびあがります。

文庫には、免田さんが社会奉仕活動として始めた児童書の点訳図書もあります。

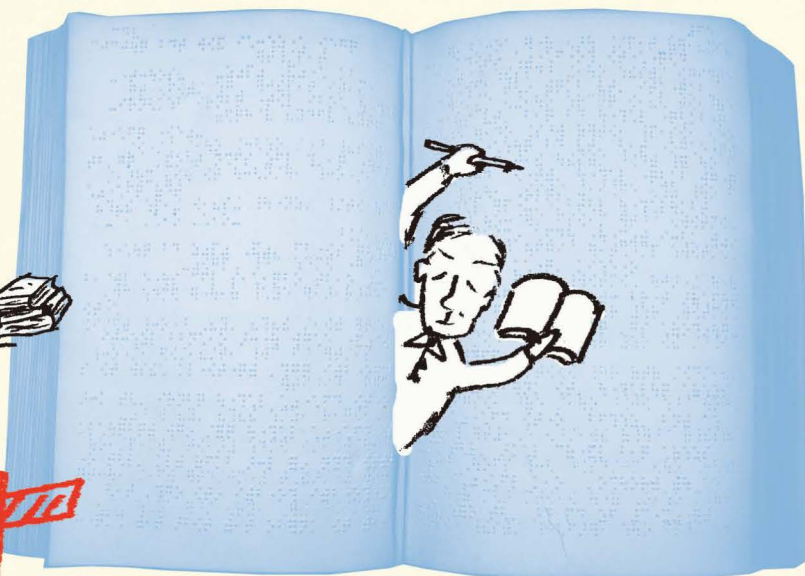
本からの学びとはなんなのか、ぜひ「免田栄文庫」に触れて感じてみてください。

実用手紙文

た

めの

令和7年度 熊本大学文書館 免田栄文庫展



2025年

11月2日(日) 3日(月・祝) 4日(火)

10:00～17:00 最終入場16:30 観覧無料 / 一般公開 / 予約不要

会場：熊本大学黒髪北地区

全学教育棟1階 E102 (文書館資料調査研究室)

※会期中は学園祭のため車でのご入構はできません

●関連イベント●

RKKラジオ報道特別番組

「真実を求めて～免田事件が問い続けるもの～」
ラジオ番組を聴く会を11月2日に開催します！

※詳細はウラをご覧ください



参加費無料
(一般公開)

予約不要

●関連イベント●

免田事件ラジオ番組を聴く会



RKKラジオ報道特別番組

「真実を求めて～免田事件が問い続けるもの～」

制作・著作 株式会社熊本放送、初回放送2023年12月27日、59分
第61回ギャラクシー賞ラジオ部門選奨、第72回日本民間放送連盟賞ラジオ報道番組部門優秀賞

当館主催にて過去2回開催した上映会に続き、RKKラジオ報道特別番組「真実を求めて」ディレクターの江上浩子さんをお招きしたイベントを開催します。

戦後に新たに制定された刑事訴訟法のもとで最初の重大事件となった免田事件には、自白偏重や物証の軽視など、冤罪の原点とされる要素が多く見られます。

2024年に判決が出た袴田事件を含めて、再審で無罪となった確定死刑囚の冤罪事件は5件となりました。

加えて、ハンセン病をめぐる菊池事件の再審を認めるかどうかについて、熊本地裁の判断が来年出ます。

再審に関する時事解説もございますので、ぜひお越しください！

江上浩子

1991年RKKに入社。

アナウンサー、キャスターとして地域のニュースや熊本地震などの災害関連も多数取材する。

現在はラジオ番組「ニュース515」（月～金午後5時15分～）を担当。

日時：2025年11月2日（日）13:30～16:00

場所：熊本大学黒髪北地区 文法学部本館1階くまトヨ講義室

【プログラム】

●13:30 開会

●13:35 趣旨説明

高峰 武（免田事件資料保存委員会代表、元熊日記者、文書館市民研究員）

●13:40 RKKラジオ報道特別番組「真実を求めて～免田事件が問い続けるもの～」

●14:40 休憩

●14:50 番組解説

江上 浩子（RKKラジオディレクター）

牧口 敏孝（元RKK熊本放送報道部記者、文書館市民研究員）

●15:05 時事解説「菊池事件再審請求について」

岡田 行雄（熊本大学法学部教授、文書館併任教員）

●15:20 質疑応答

●16:00 閉会

■主催：熊本大学文書館 ■協力：株式会社熊本放送〈RKK〉、熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

■問い合わせ先■

熊本大学文書館

TEL: 096-342-3951

email: archives@jim.kumamoto-u.ac.jp

本イベントに関するお問い合わせは、10月31日（金）15:00までをお願いします。

※会期中は学園祭のため車での入構はできません。



熊本大学文書館
ホームページ

